

地域づくりネットワーク会議 ニュース

～ 第23号 ～

第16回ワーキング会議

『(仮称)大江緑道を活かした地域づくりシンポジウム』を開催しました！

地域の人々に親しまれ、さまざまな人々に有効活用される「(仮称)大江緑道」の魅力づくりの方策を検討していくため、地域づくりネットワーク会議を実施しています。

平成26年2月2日(日)に、大阪府立大学大学院 教授の藤原宣夫先生の司会・進行により、専門家の方々から話題提供やコメントをいただき、参加者全員で今年度の活動について意見交換を行いましたのでその内容をお知らせします。

■ 第16回ワーキング会議の概要

日時：平成26年2月2日(日) 13:30～15:30

会場：アクアワールド水郷パークセンター内
パークセンターホール

参加者：海津市とその周辺にお住まいの方 約20名

主催：国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所

共催：海津市



■ プログラム

○ (仮称)大江緑道にかかる平成25年度の取り組み報告

木曾川下流河川事務所 河川公園課長 山本幸泰

○ 話題提供 「河川環境での米づくり～市民とともに育てる棚田の歩みから」

木曾三川公園管理センター係長 伊藤 忠 氏

○ アドバイザーからのご講評 滋賀県立大学客員准教授 森川 稔 先生

岐阜経済大学教授 森 誠一 先生

○ 意見交換

① 海津マルシェなどの継続について

② (仮称)堀田を愛する会の準備会の今後の活動について

司会：大阪府立大学大学院教授 藤原宣夫 先生

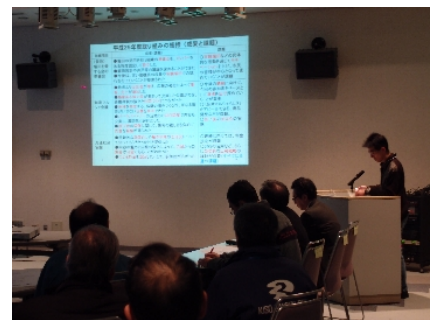


■ (仮称)大江緑道にかかる平成25年度の取り組み報告

木曾川下流河川事務所 河川公園課長 やまもとゆきやす 山本幸泰

今年度の事業の取り組みと活動について、木曾川下流河川事務所 河川公園課長から、以下のような報告を行いました。

- ・「(仮称)堀田を愛する会の準備会」を設立し、堀田の詳細設計のためにコアメンバーが集まって、活発な議論を行った。来年度以降は本格的な会の立ち上げを目指す。
- ・多くの方にご協力頂き、舟運、物販の社会実験を実施した。物販イベント「海津マルシェ～ふるさと特産市～」は、昨年度より出店、集客が増え、大いに賑わった。また、新聞に記事が載るなど大変好評であった。舟運実験「輪中のお宝探検隊2013」は、広報の効果がみられ、広域からご参加いただけた。



■話題提供 「河川環境での米づくり～市民とともに育てる棚田の歩みから」

木曾三川公園管理センター係長 いとう ただし 伊藤 忠 氏

河川環境楽園の伊藤 忠係長から、木曾川水園の棚田について、次のようなお話をいただきました。

- ・木曾川水園のテーマは『見る、遊ぶ、体験、学習する』。
- ・園内の棚田では、小学生の田植え・稲刈り体験学習、年間会員制のクラブ活動（田んぼクラブ、エコパラクラブ）が行なわれている。
- ・年間を通したプログラムでは、「何を学ばせるのか」が非常に重要。環境学習専門のスタッフにも協力して頂いている。
- ・田んぼクラブでは、年 12 回の活動が行なわれている。通常の農業体験だけでなく、苗床作り、夏の生き物観察、しめ縄作りや紙作りなど、親子を対象に様々な体験学習プログラムを実施している。会費制だが、長年の積み重ねで、毎年応募が定員を超える人気を博している。



■アドバイザーからのご講評 滋賀県立大学 客員准教授・工学博士 もりかわ 森川 稔 先生

岐阜経済大学 教授・理学博士 もり せいいち 森 誠一先生

アドバイザーの先生方より、平成 25 年度の活動についてご講評をいただきました。



■森川先生より「海津マルシェを通じて見えてきた海津のふるさとづくりについて」

- ・1 年目よりも集客、出店共に増え、ステップアップすることができた。
- ・本来は海津の地域活性化が目的である。継続にあたっては「地域にこだわる」、「人を繋げる」、「成長する」、「みんなが楽しむ」の 4 点が重要である。
- ・（仮称）大江緑道の整備と連動して、市民が主導で継続して行ってほしい。

■森先生より「堀田再生に向けて、市民ができること、すべきことについて」

- ・堀田は、生物多様性、地域文化を守り、地域間のコミュニティを強めてきた。この堀田を再生することはまちづくりの大きな一助となると考える。
- ・運営の仕方、事務局の設立については、将来的に管理を継続できるように、協議する必要がある。米に限らず、輪中文化を守っていく会になってほしい。



■意見交換 司会：大阪府立大学大学院 教授・学術博士 ふじわらの ぶお 藤原宣夫先生

大阪府立大学の藤原先生の司会により、今年度の活動などについて、参加者全員で話し合い、次の様な意見を頂きました。また、事務局から堀田の設計案について説明しました。

①海津マルシェなどの継続について

- ・参加してみて収益が見込めることが分かった。もっと出店者を増やして継続していきたい。
- ・雨天の時でも開催できる設備が欲しい。
- ・海津マルシェを通じて地域の食文化を皆に伝えていきたい。
- ・消費者に直接思いを伝えられるイベントなので是非続けて欲しい。

②（仮称）堀田を愛する会の準備会の今後の活動について

- ・水の管理は重要な要素なので、できるだけ昔の方法を再現して欲しい。
- ・今までの議論の経緯を踏まえて、整備を進めていくべきだ。

